

わたしのうと活動記

地域おこし協力隊って？

都市部から移住し、地域の魅力づくりやお手伝いをする制度です。農業や観光、PRの支援など、地域の課題に取り組みながら、ここでの暮らしを楽しみ、定住を目指します。宇土市地域おこし協力隊は、総勢10人で活動しています。

震災があった。でも…その先をみつけない

今回の地震で大きな被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年、熊本に移住した私にとって今回の地震は人生で初めて経験する大きな震災でした。正直、「こんなにも一瞬で、当たり前前の日常が変わってしまうのか」と感じました。震災直後は、宇土市の「今」を写真に残すことから始めました。日に日にイベントの中止が発表される中で、「このままでは子ども達の夏休みから楽しい思い出がなくなってしまうのではないか?」、「友達や知り合いと会って話す機会も少なくなってしまうのではないか」と考えるようになりました。そこで、地域おこし協力隊員の瓦川さん・宮本さん、宇土市親善大使の植田明依さんと宇土市が再び『繋がる』ことへの願いを込めて「うとRe:CONNECTプロジェクト」を立ち上げました。8月11日、9月5日に宇土市内でイベントを開催。(遊びにきて下さった方ありがとうございますー!!♡)

また、宇土市観光物産協会主催の「うと あそぼーランド」にもスタッフとして参加させて頂きました。活動を通して改めて感じたのは「人と会って、話す。笑顔を見る」という何気ない日常の尊さです。そして宇土の皆さんの温かさ、「宇土を盛り上げたい」という熱い想いに、何度も背中を押されました。



うと あそぼーランドで大人気だったシャボン玉

少しずつ、観光の発信ができる環境が戻ってきています。これからも、市外の方にも「宇土っていいね」「宇土に行ってみよう」と思ってもらえるような発信を続けていきたいと思っています。

地域おこし協力隊としての任期も残り1年半。折り返しを迎えました。これからも、宇土の皆様と一緒にたくさんの「繋がり」を育んでいけたら嬉しいです。

商工観光課 見沢 晴菜

協力隊mission

うとの魅力を発見・発掘・発信！
うとの観光をバズらせる



完成したドローイングアート

まちづくり推進課所属

宮本 恭平

協力隊mission

多くの方と関わり、宇土に住む人・働く人を写真と文字で残していく



一人では見えない景色を求めて ～地域の力で広げる交流～

現在私は、地域の皆さんが気軽につながり、交流が生まれる場づくりに取り組んでいます。

8月11日と9月5日には、市内事業者の「創造空間ウトモク」様を会場に、ほかの地域おこし協力隊員や宇土市親善大使の植田明依さんとイベントを企画・開催しました。準備では、たくさんの協力者様のお力も借り、それぞれの経験や得意分野を持ち寄って内容を形にしました。皆さんと力を合わせることで、一人では生まれないアイデアや可能性が広がることを実感しました。

今回の取り組みを通して、人と人が出会い、楽しみながら交流できる場の大切さを感じました。これからも地域の声を大切にしながら、宇土の魅力と人のつながりを育む活動を続けていきます。

